



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋  
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 久樹  
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 上島 幹雄

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	137,793	△1.6	1,824	△0.2	1,960	△1.9	952	505.5
24年3月期第3四半期	139,985	11.6	1,827	25.9	1,999	21.4	157	△74.6

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 967百万円 (177.1%) 24年3月期第3四半期 349百万円 (4.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	9.07	—
24年3月期第3四半期	1.50	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	91,859	17,769	17,769	17,769	19.1
24年3月期	84,937	17,212	17,212	17,212	20.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 17,556百万円 24年3月期 16,965百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	△3.8	2,000	22.2	2,200	28.8	1,100	160.0	10.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会社方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付書類)3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	109,282,837 株	24年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	4,248,359 株	24年3月期	4,248,051 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	105,034,728 株	24年3月期3Q	105,034,991 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2P
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2P
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3P
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3P
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3P
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3P
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3P
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3P
3. 四半期連結財務諸表 .....	4P
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6P
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8P
(4) セグメント情報等 .....	8P
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8P

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下での強力な金融緩和や経済成長戦略に対する期待から、年末にかけて株価の上昇や円安の進行が見られましたが、世界経済の減速や日中関係の悪化等により輸出や生産の伸び悩みが見られ、依然として不透明な状況が続いております。

水産・食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識による節約志向、デフレ経済の長期化による低価格志向が継続しており、個人消費は盛り上がりには欠ける展開となっております。

このような状況のもとで当社グループは、新中期経営計画『パワーアップキョクヨー2015』に基づき、「キョクヨーグループの優位性を強化、拡充し、安心・安全で競争力のある商品の提供により、グループ企業価値の最大化を実現する」ことを基本目標に据え、目標達成に向けて取り組んでおります。

水産商事事業セグメントでは、冷凍魚やえび・かに製品を中心に加工を施した付加価値商品の販売に努めた結果、最大の需要期である年末商戦は順調に推移したものの、売上、利益ともに前年同期を上回るまでには至りませんでした。

冷凍食品事業セグメントにおける水産冷凍食品では、寿司種を中心とした生食用商品を大手回転すしチェーン向けに、さばを中心とした骨なし切身、焼魚、煮魚などの加熱用商品を医療食や宅配ルート、大手量販店向けに拡販を行いました。調理冷凍食品は、白身魚などの水産フライ類や、えび加工品を量販店やコンビニ向けに販促を図りました。その結果、この部門の売上は前年同期を上回りましたが、生産コストの上昇や販売競争の激化により、利益は下回りました。

常温食品事業セグメントでは、新規商材の開発を進めるとともに、東日本大震災からの生産設備の復旧が進んだ国内協力工場の水産缶詰を中心に、輸入缶詰や畜肉缶詰、海産珍味類などを量販店や大手コンビニルートへ拡販に努めました。その結果、売上は前年同期を上回ったものの、原料価格の上昇や販売競争激化により利益は下回りました。

物流サービス事業セグメントにおける冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めました。冷蔵運搬船事業は、バナナ輸送の年間契約の獲得を図るとともに、船体編成のスリム化、コスト削減に努めました。その結果、売上は前年同期を上回り、損失額も下回りました。

鯉・鮪事業セグメントにおけるかつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートの拡充を図り、安定的な原料確保に注力し拡販に努めたものの、原料高、製品価格の競争激化の影響を受けました。海外まき網事業は、漁獲量の増加や魚価の堅調推移により、所期の計画を上回りました。養殖事業は、水揚げも順調に進み、また品質に対する評価も高く、好調に推移しました。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,377億93百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は18億24百万円(前年同期比0.2%減)、経常利益は19億60百万円(前年同期比1.9%減)、四半期純利益は9億52百万円(前年同期比505.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ69億21百万円増加し、918億59百万円となりました。

流動資産は、たな卸資産が減少したものの、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ67億18百万円増加し、715億42百万円となりました。固定資産は、有形固定資産、無形固定資産ともに減価償却により減少したものの、投資有価証券の評価差額などの影響により、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加し、203億16百万円となりました。

負債合計は、コマーシャル・ペーパー、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ63億64百万円増加し、740億90百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億57百万円増加し、177億69百万円となりました。

この結果、自己資本比率は19.1%(前連結会計年度末比0.9ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想に関しましては、平成24年10月26日に公表した業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,496	3,892
受取手形及び売掛金	23,722	31,018
たな卸資産	33,756	32,528
その他	3,894	4,138
貸倒引当金	△45	△35
流動資産合計	64,824	71,542
固定資産		
有形固定資産	11,574	11,570
無形固定資産		
のれん	318	252
その他	412	355
無形固定資産合計	730	607
投資その他の資産		
投資有価証券	4,226	4,395
その他	3,602	3,745
貸倒引当金	△20	△3
投資その他の資産合計	7,807	8,137
固定資産合計	20,113	20,316
資産合計	84,937	91,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,913	9,568
短期借入金	39,205	36,796
コマーシャル・ペーパー	5,000	10,000
未払法人税等	887	799
引当金	750	347
その他	5,973	7,203
流動負債合計	58,730	64,715
固定負債		
長期借入金	2,797	2,245
退職給付引当金	5,155	5,628
その他の引当金	78	91
資産除去債務	50	50
その他	913	1,357
固定負債合計	8,995	9,374
負債合計	67,725	74,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,017	12,529
自己株式	△747	△747
株主資本合計	17,683	18,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△669	△583
繰延ヘッジ損益	61	82
為替換算調整勘定	△109	△138
その他の包括利益累計額合計	△717	△639
少数株主持分	246	212
純資産合計	17,212	17,769
負債純資産合計	84,937	91,859

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	139,985	137,793
売上原価	124,721	121,981
売上総利益	15,264	15,811
販売費及び一般管理費	13,436	13,986
営業利益	1,827	1,824
営業外収益		
受取利息	57	50
受取配当金	95	97
為替差益	160	52
補助金収入	68	104
その他	157	145
営業外収益合計	539	451
営業外費用		
支払利息	314	286
その他	53	28
営業外費用合計	368	315
経常利益	1,999	1,960
特別利益		
固定資産処分益	74	13
国庫補助金	—	30
特別利益合計	74	44
特別損失		
固定資産処分損	5	3
投資有価証券評価損	731	54
投資有価証券売却損	0	—
その他	0	3
特別損失合計	736	61
税金等調整前四半期純利益	1,336	1,942
法人税、住民税及び事業税	1,013	1,062
法人税等調整額	175	△48
法人税等合計	1,188	1,014
少数株主損益調整前四半期純利益	148	928
少数株主損失(△)	△8	△24
四半期純利益	157	952

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損失(△)	△8	△24
少数株主損益調整前四半期純利益	148	928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	335	86
繰延ヘッジ損益	△57	20
為替換算調整勘定	△78	△68
その他の包括利益合計	200	38
四半期包括利益	349	967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	378	1,030
少数株主に係る四半期包括利益	△29	△63

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	69,237	37,225	10,475	2,622	20,366	57	139,985	—	139,985
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,313	1,186	187	797	927	657	17,071	△17,071	—
計	82,551	38,411	10,663	3,420	21,294	715	157,057	△17,071	139,985
セグメント利益又は 損失(△)	1,417	503	177	△620	577	101	2,155	△327	1,827

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額327百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用403万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	63,371	38,919	11,642	2,756	21,051	52	137,793	—	137,793
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,441	2,301	132	775	766	651	19,069	△19,069	—
計	77,812	41,221	11,774	3,532	21,818	703	156,862	△19,069	137,793
セグメント利益又は 損失(△)	1,058	338	120	△325	866	80	2,139	△314	1,824

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額314百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用443百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。